山形大学
Yamagata University

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日　時: 平成29年10月5日（木） 11:00～11:45

場　所: 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 教授の着任について
2. 学生がキラリと光る地元企業の魅力発信
   ～村山管内のモノづくり企業の魅力を伝えるFacebook開設～
3. 学生が尾花沢市ブックレット及び観光パンフレットを制作
4. 山形大学小白川図書館・附属博物館特別展
   「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文」開催のお知らせ
5. 多様化する社会に向けて対応できる人材を育成します

お知らせ

1. 寄付講義「ツーリズム産業論」を開講します
2. 山形民俗映像フォーラム
   山形を代表する民俗芸能・黒川能（王祇祭（おうぎさい））52年間の変化を映像から考えます
3. 内外の映像関係者を招き「やまがた創造都市会議2017」を開催
4. 第17回林忠四郎記念講演会の開催について
5. 学術書を100円で販売！小白川図書館で「リユース市」を開催します
6. 人文社会科学部学術講演会「国際公益と国連安全保障理事会」を開催
7. やまがた夜話の開催について

（参　考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日　時:平成29年10月19日（木） 11:00～11:45

場　所:法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（10月5日）発表者

1. 教授の着任について

学　長　　小山（こやま）　清人（きよひと）

学術研究院　教授（高分子・有機材料、有機エレクトロニクス、数値解析）
MILANO（ミラノ）　GIUSEPPE（ジュゼッペ）

2. 学生がキラリと光る地元企業の魅力発信
～村山管内のモノづくり企業の魅力を伝える Facebook 開設～

山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課課長　佐藤（さとう）　吉彦（よしひこ）

学術研究院　教授（人文社会科学部担当）　是川（これかわ）　晴彦（はるひこ）

学術研究院　准教授（人文社会科学部担当）　吉原（よしわら）　元子（もとこ）

3. 学生が尾花沢市ブックレット及び観光パンフレットを制作

学術研究院　教授（人文社会科学部担当）　山田（やまだ）　浩久（ひろひさ）

人文学部　人間文化学科　3年　渡邊（わたなべ）　唯（ゆい）

〃　菅原（すがわら）　柚希（ゆずき）

4. 山形大学小白川図書館・附属博物館特別展
「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文」開催のお知らせ

山形大学小白川図書館長　梅林（うめばやし）　豊治（とよはる）

山形大学附属博物館長　新宮（あらみや）　学（まなぶ）

5. 多様化する社会に向けて対応できる人材を育成します

国際事業化研究センター長　小野寺（おのでら）　忠司（ただし）

プレス発表資料

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

教授の着任について

山形大学では、平成27年4月からすべての教員が学術研究院に所属し、各学部・研究科等における教育課程の担当として学部・研究科等に配置されております。
平成２９年１０月1日付で教授が1名着任しましたので、お知らせします。

■　MILANO　GIUSEPPE（ミラノ　ジュゼッペ）

採用年月日: 平成２９年１０月1日
専 門 分 野：高分子・有機材料、有機エレクトロニクス、数値解析

（お問合せ先）
総務部人事課　菊地
電話　023-628-4023

プレス発表資料

山形大学
Yamagata University

平成29年10月5日
山　形　大　学

学生がキラリと光る地元企業の魅力発信

～村山管内のモノづくり企業の魅力を伝えるFacebook開設～

山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所は山形県村山総合支庁から委託を受け、学生の視点から山形県村山地域の**モノづくり企業のもつ魅力をFacebookで発信**する取り組みを行っています。

地元にある優れた技術や製品をもつ企業をもっと若者に知ってもらいたいという思いから、人文社会科学部・大学院社会文化システム研究科の学生が実際に企業に行き、話を聞いて、工場を見て、現場で感じた山形のモノづくり企業28社の魅力を紹介していきます。

■事業の目的

村山地域には、独自の優れた技術や製品をもつ企業が数多く存在します。高校生や大学生にこのような魅力ある企業が地元にあることをもっと知ってもらいたい！地元に定着してほしい！という思いから、学生の視点でFacebookを使って情報発信する取り組みを実施することになりました。

（株）ナガオカの長岡社長に取材

■これまでの取り組み

8月下旬から9月下旬にかけて、人文社会科学部・大学院社会文化システム研究科の学生約30名が分担して村山地域の製造業企業を取材してきました。取材先は28社に及び、食品、家具、繊維、機械・金属関係など多岐にわたり（取材企業は別紙のとおり）、企業では経営者をはじめ様々な方にお話を伺い、工場を視察しました。

五感で感じた企業の魅力や技術をできるだけわかりやすく紹介した記事を作成し、本日（10月5日）から下記Facebookページに掲載開始します。順次、新しい記事を掲載していく予定ですので、ぜひご覧ください。

Facebookページ「キラリと光る！山形県村山地域の企業」
https://www.facebook.com/キラリと光る山形県村山地域の企業-178581976017006/
取り組みの様子を配信中→Twitterアカウント@ShiningYamagata

Googleで「**キラリと光る山形**」と検索すると出てきます。

（お問合せ先）
学術研究院（人文社会科学部主担当）
准教授　吉原　元子
電話　023-628-4256

キラリと光る村山の企業・技術情報発信事業

おもしぇ企業見でみっか！

山形大学の学生がキラリ★と光る企業を取材

モノづくり企業の魅力や技術を発信しています

山形県村山地域の製造業28社の魅力をFacebookで発見しよう！

キラリと光る！山形県村山地域の企業

https://www.facebook.com/キラリと光る山形県村山地域の企業-178581976017006/

キラリと光る山形　検索

Twitterアカウント@ShiningYamagata でも事業の様子を配信中

山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課　TEL 023-621-8443
受託：山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所

Facebook掲載の企業

山形県村山管内で学生が取材した製造業28社

＜**山形市**＞
株式会社伊藤熱処理
株式会社柴田製作所
株式会社シベール
株式会社鈴木製作所
スズキハイテック株式会社
株式会社高橋型精
株式会社でん六
株式会社ハッピージャパン
ミクロン精密株式会社

＜**寒河江市**＞
後藤電子株式会社
佐藤繊維株式会社
株式会社スガサワ
日東ベスト株式会社
株式会社マイスター

＜**上山市**＞
株式会社片桐製作所
ジャスト株式会社

＜**村山市**＞
株式会社エツキ

＜**天童市**＞
斎藤マシン工業株式会社
株式会社天童木工
株式会社山本製作所

＜**東根市**＞
アイジー工業株式会社
株式会社ナガオカ

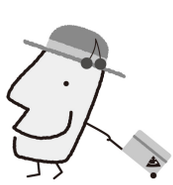
＜**尾花沢市**＞
株式会社最上世紀

＜**山辺町**＞
オリエンタルカーペット株式会社
川西精密株式会社
米富繊維株式会社

＜**河北町**＞
株式会社ＩＢＵＫＩ

＜**朝日町**＞
株式会社朝日相扶製作所

（順不同）



プ レ ス 発 表 資 料

山形大学
Yamagata University

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

学生が尾花沢市ブックレット及び観光パンフレットを制作

昨年度、人文社会科学部（旧人文学部）で開講された地誌学の講義において、学生が尾花沢市の生活を紹介するブックレットと観光パンフレットを制作しました。この度、これらの成果を尾花沢市の支援を得て印刷し、同市内に配布することになりました。

背景

「地誌学」（山田浩久教授担当）は、地域を題材に、その地域の構成要素を整理しながら、それら相互の関連から地域が形成されていることを学ぶ授業科目です。人文学部で平成28年度後期に開講されたこの授業で、学生達は尾花沢市を題材に、自然環境や歴史的背景などを学びながら、地域の抱える問題を考えました。その授業の成果として、尾花沢市の生活と観光を紹介するブックレットとパンフレットを制作しました。

今回、尾花沢市の支援を得て、学生達が制作したブックレットとパンフレットを印刷し、同市内に配布することになりました（配布資料）。

内容

- ブックレット『尾花沢市を知る』；B5判12頁カラー印刷

①尾花沢市とは？　―雪とスイカと花笠のまち―

②尾花沢市の統計

③尾花沢市でできるこんな生活

④尾花沢市在住の看護師Ａさんを例に
　尾花沢市への定住のメリットとデメリットを考える

- パンフレット『遊んで、食べて、癒されて』
　；A4版表裏折込１枚カラー印刷

①尾花沢MAP

②尾花沢市へのアクセス

③春夏秋冬の観光案内

（お問合せ先）
山形大学学術研究院（人文社会科学部担当）
教授　山田浩久
電話　０２３－６２８－４２４６

プレス発表資料

山形大学
Yamagata University

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

山形大学小白川図書館・附属博物館特別展
「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文」開催のお知らせ

平成２９年度山形大学小白川図書館・附属博物館特別展「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文―近代山形最初の郷土史家、伊佐早　謙(いさはや　けん)が収集した『林泉文庫(りんせんぶんこ)』の世界―」を開催します。
近代山形最初の郷土史家、伊佐早 謙のさまざまな業績を紹介し、伊佐早が収集した林泉文庫に収められた貴重な琉球・沖縄関係資料を初めて公開します。

伊佐早が収集した「林泉文庫」の一部で、現在は本学小白川図書館が所蔵する琉球関係漢詩文を通じて山形と沖縄のつながりを広く紹介します。沖縄戦で焼失したため、今では極めて貴重となった本学所蔵の琉球・沖縄関係資料に加えて、本年うるま市立中央図書館から寄贈された複製副本6点を展示するとともに、山形師範学校で教鞭をとったこともある伊佐早の歴史家・図書館人・漢学者としての業績を顕彰します。

【実施概要】
主　　催：山形大学小白川図書館・山形大学附属博物館
後　　援：日本中国学会第６９回大会準備会
協　　力：うるま市立中央図書館、市立米沢図書館
会　　期：平成２９年１０月６日（金）～１１月１４日（火）
開館時間等：第１会場　附属博物館
　　開館時間　平　　日　　９時３０分～１７時００分まで
　　土　　日　１１時００分～１７時００分まで
　　休 館 日　１０月９日(月・祝)、１５日(日)、２９日(日)、
　　１１月土・日・祝日
　　第２会場　小白川図書館
　　開館時間　平　　日　　８時１５分～２１時００分まで
　　土日祝日　１１時００分～１８時００分まで
　　休 館 日　なし
入 館 料　：無料

【関連企画】
・ギャラリートーク
　日時：10月6日（金）１７時００分～１７時４０分
　　10月7日（土）１２時３０分～１３時１０分
　場所：小白川図書館1階
　講師：高津　孝（鹿児島大学法文学部　教授）
・特別講演会「伊佐早　謙と林泉文庫―知の巨人とその蔵書―」
　日時：10月19日（木）16時30分から18時00分まで
　場所：人文社会科学部1号館1階103教室
　講師：青木昭博（市立米沢図書館郷土資料担当）

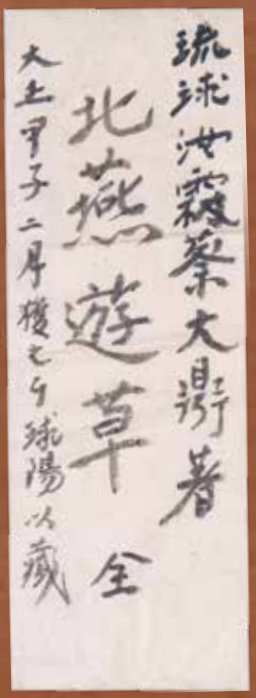
(お問合せ先)
山形大学附属博物館・須藤
電話　023-628-4930

平成29年度　山形大学小白川図書館・附属博物館　特別展

山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文

―近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙（いさはやけん）が収集した「林泉文庫（りんせんぶんこ）」の世界―

主催　山形大学小白川図書館・附属博物館
後援　日本中国学会第69回大会準備会
協力　うるま市立中央図書館、市立米沢図書館


『北燕遊草』（部分）山形大学小白川図書館所蔵

『写真　伊佐早謙』（部分）米沢市上杉博物館所蔵

2017年
10月6日［金］➤ 11月14日［火］

米沢が生んだ郷土史家の先駆けである伊佐早謙の蔵書「林泉文庫」に収集された琉球・沖縄の漢詩文と関係する資料を初めて公開します。近代以降、最後の米沢藩主で沖縄県令を務めた上杉茂憲（もちのり）と伊佐早がつないだ沖縄と山形との深い結びつきが浮かび上がります。

入館無料

第1会場
山形大学附属博物館
開館時間　平　日　9:30～17:00
　　土　日　11:00～17:00
休館日　10月9日（月・祝）、15日（日）、29日（日）、11月土・日・祝日

第2会場
山形大学小白川図書館
開館時間　平　日　8:15～21:00
　　土日祝日　11:00～18:00
休館日　会期中無休

関連企画

ギャラリートーク
日　時　10月6日（金）17:00 ～ 17:40
　　7日（土）12:30 ～ 13:10
講　師　高津　孝（鹿児島大学法文学部教授）
会　場　山形大学小白川図書館1階

特別講演会
伊佐早謙と林泉文庫　―知の巨人とその蔵書―
日　時　10月19日（木）16:30～18:00
講　師　青木　昭博（市立米沢図書館郷土資料担当）
会　場　山形大学人文社会科学部1号館1階103教室
※事前申込み不要

アクセス　JR山形駅から「べニちゃんバス東くるりん東原町先回りコース」乗車「山大前」下車徒歩1分。
平日のみ山形大学専用駅循環シャトルバス運行。詳しくは山形大学HPをご覧ください。

お問合せ
山形大学附属博物館
山形市小白川町1－4－12
TEL：023－628－4930
FAX：023－628－4668
E-mail：hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 Yamagata University　フェスタ 国立大学2017

プレス発表資料

平成 29 年 10 月 5 日
山　形　大　学

多様化する社会に向けて対応できる人材を育成します

山形大学は平成 29 年度次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）※を実施するにあたり、11 月 2 日（木）に公開キックオフシンポジウムを開催します。日本の、そして山形地域の未来を拓く起業家（アントレプレナー）育成に関心のある方のご参加をお待ちしております。

■シンポジウムの概要（詳細は別紙チラシをご覧ください。）

日時：平成 29 年 11 月 2 日（木）13:00～17:00（情報交換会は 17:15～19:00）

場所：ホテルメトロポリタン山形（山形市香澄町 1-1-1）

プログラム：

13:00　開会

13:30　基調講演　講師；（株）ユーグレナ取締役 CFO　永田暁彦氏

14:15　山形大学･会津大学発ベンチャー紹介

15:00　山形大学 EDGE-NEXT 説明

15:30　パネルディスカッション　～山形から未来を拓く若手起業家（仮）～

モデレータ　国際事業化研究センター長　小野寺忠司

パネリスト　早稲田大学、山形大学が育成した若手起業家数名

17:00　閉会

※次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT：Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation）は、EDGE プログラムに採択された大学をはじめ、これまで各地の大学で取り組まれてきたアントレプレナー教育で得られた成果や課題を踏まえて、大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成、関係者・関係機関によるベンチャー・エコシステムの構築を目的としています。具体的には、学部学生や専門性を持った大学院生、若手研究者を中心とした受講者に対するアイディアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラムの実施により、受講者が将来の産業構造の変革を起こす意欲をもつようになる、より実践的な内容を重視したプログラムを支援します（文部科学省 HP より）。

（お問合せ先）
山形大学国際事業化研究センター長　　小野寺忠司
電話.0238-26-3025
Mail. yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp

10/5 プレス発表資料

山形大学　EDGE-NEXT
次世代アントレプレナー人材育成
プログラム紹介

山形大学　国際事業化研究センター
センター長
教授　小野寺　忠司

EDGE-NEXT とは

山形大学 Yamagata University

文科省 次世代アントレプレナー育成事業
「EDGE-NEXT人材育成のための共創エコシステムの形成」

EDGE プログラム
グローバルアントレプレナー育成促進事業
H26年～H28年 （13大学）

早稲田大学

滋賀医科大学 ・・・

学生、若手研究者向け
起業マインド育成
イノベーションエコシステム形成

EDGE-NEXT コンソーシアム
次世代アントレプレナー育成促進事業
H29年～H33年 (5団体/12団体中)

協働機関 1
滋賀医科大学

協働機関 2
東京理科大学

共創エコシステム

主幹機関
早稲田大学

協働機関 3
山形大学

協力機関 (31)

起業挑戦者向け
人材育成
ベンチャー創出エコシステム構築

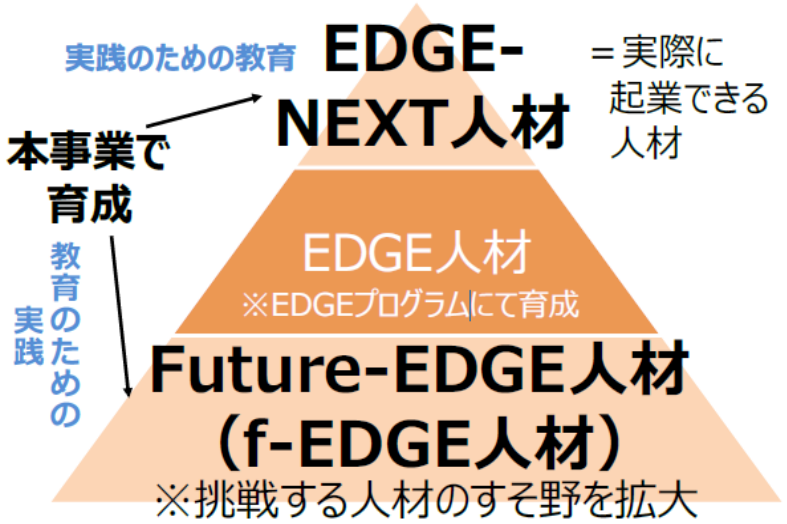
EDGE： Enhancing Development of Global Entrepreneur
EDGE-NEXT: Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT

EDGE-NEXT コンソーシアムが目指すところ

山形大学 Yamagata University

教育理念・人材育成目的

「グローバルリーダー」、「医工連携」、「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT人材」を　文理融合で養成



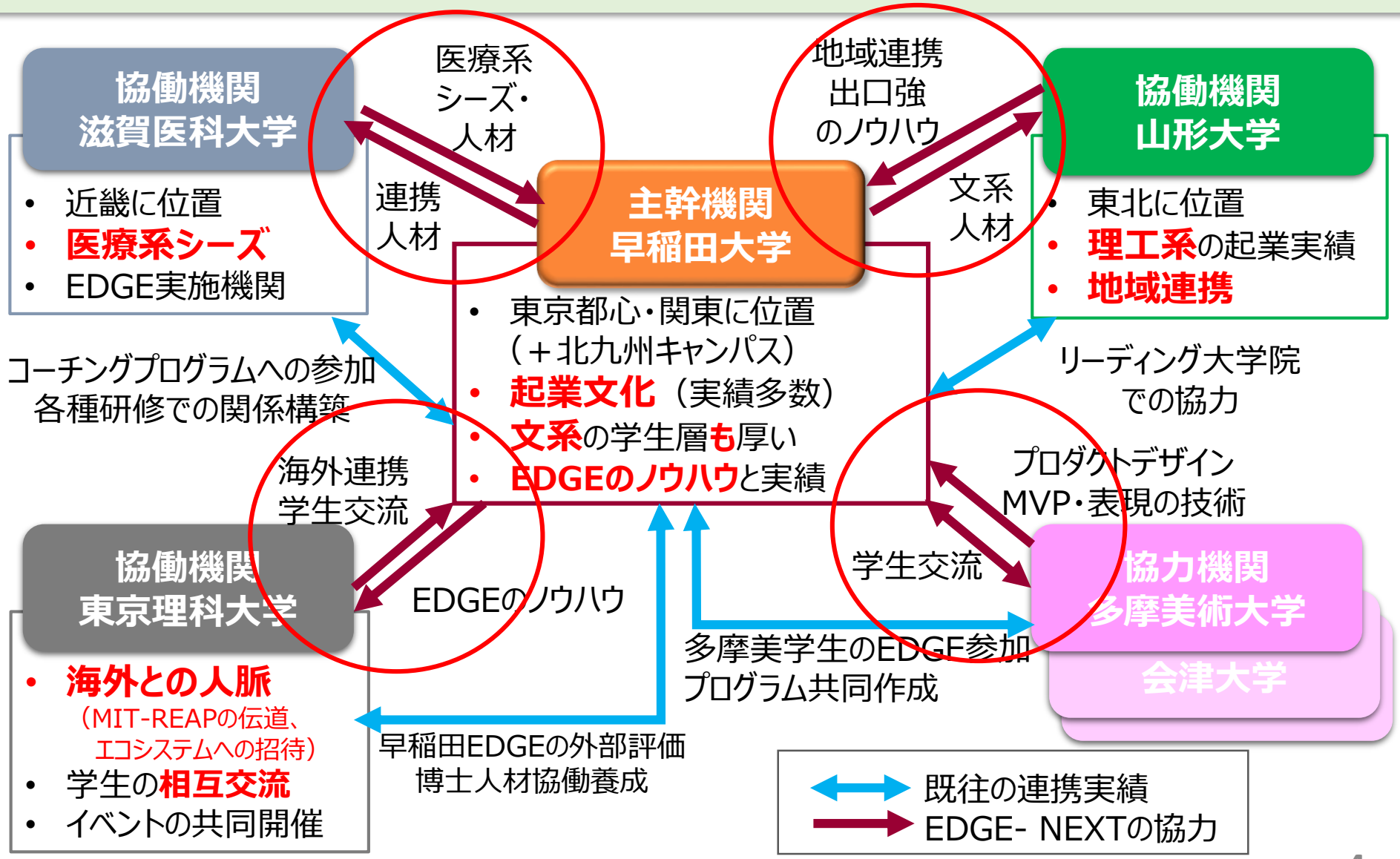
EDGE-NEXT人材：⇒実勢のための教育
・実際に起業、社内新規事業創出を実現できる人材
・大学院生、若手研究者を対象に異分野融合、分離融合により育成

Future-EDGE人材：⇒教育のための実践
・将来起業、社内新規事業創出を担う候補生
・主に学部学生向けに、地域課題解決やインターンによるPBL教育など正規科目を中心に教育

EDGE-NEXT コンソーシアムの体制と相互補完

山形大学 Yamagata University

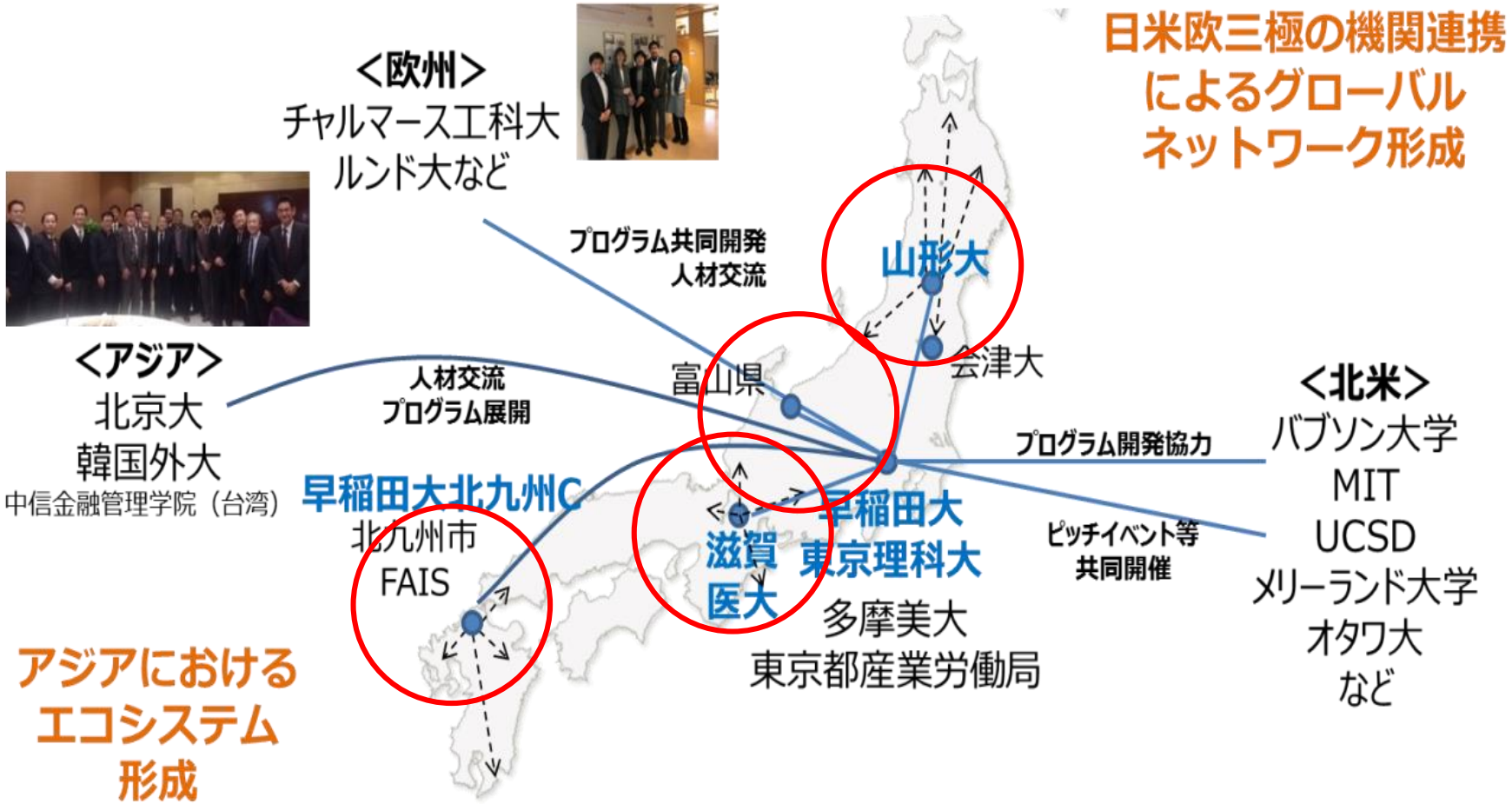
理工系・文系・医療系・芸術系など多様な専門分野を持つ大学の連携



全国のEDGE-NEXTハブ形成とグローバル展開

山形大学 Yamagata University

・地域拠点による地方創成で、ベンチャー・エコシステムのハブを形成
・海外連携による先進的な知見の輸入と展開、国際競争力の強化

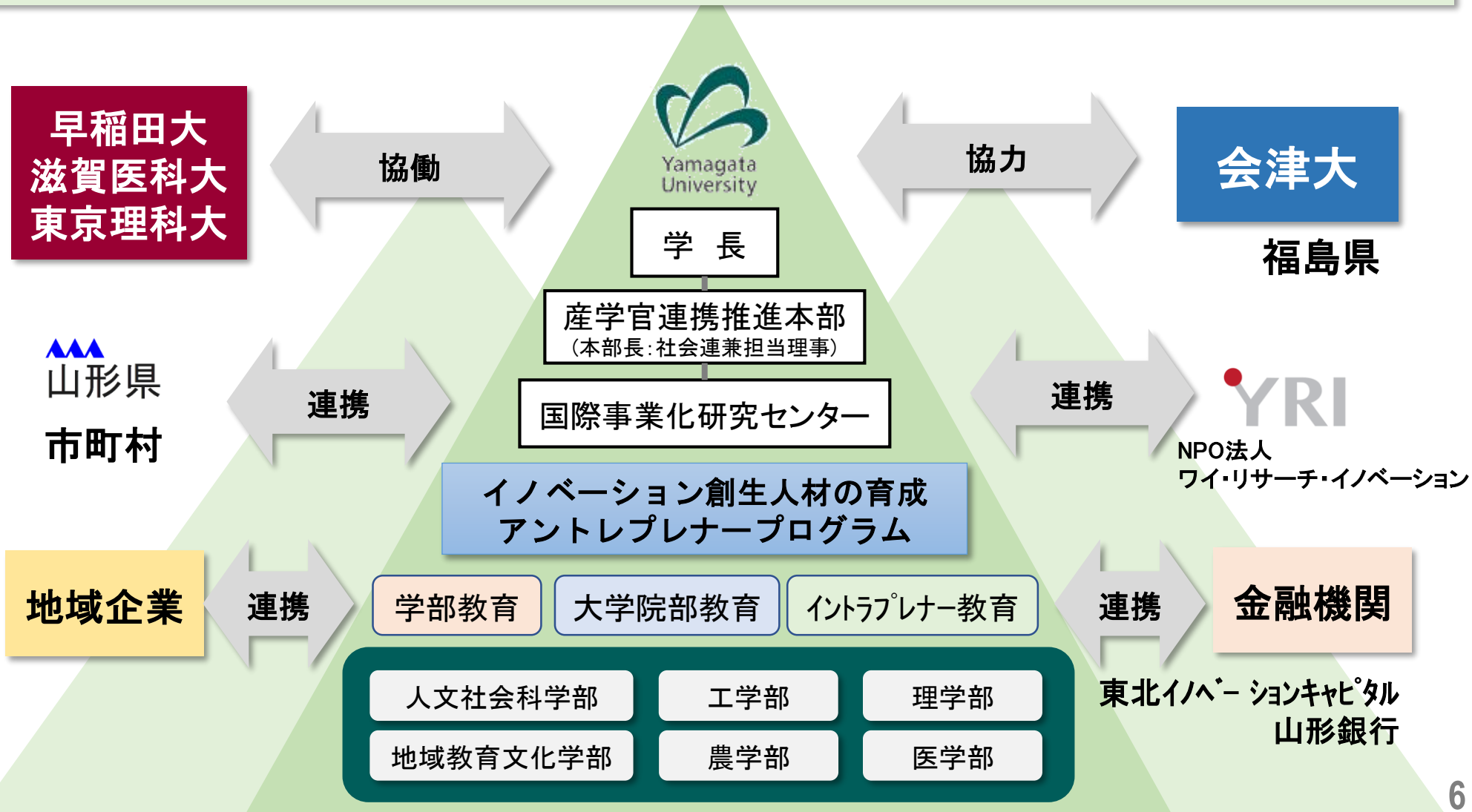


価値共創プラットフォームを介した展開

山形大学の体制（対象：学生教職員（学内外）・社会人等）

山形大学 Yamagata University

産学官金の関係機関等と連携し、アントレプレナー育成・地方創生にむけて相乗効果を発現できる連携を開始。 山形大学が起点となり、山形・福島の南東北からイノベーションを起こす人材を育成し、**ベンチャーを創出するエコシステムを構築**していく。



山形大学人材育成プログラム概要

山形大学 Yamagata University

地域課題を解決する実践的プログラムにより学生の**起業家精神を育成**し、将来の起業チャレンジャーに**起業の基本能力を習得**させ、**本格的創業に向けた伴走支援と資金調達支援**で、ベンチャー企業を生み出す**エコシステムを構築**する。

STEP 1 意識醸成 → STEP 2 技術、人材発掘 → STEP 3 価値提案策定 → STEP 4 ビジネスプラン策定検証

③ 起業家育成教育プログラム（実践編）
- 本格的創業・新規事業立ち上げに向けた伴走支援
- 起業に意欲ある研究者・社会人・学生を対象

② 起業家育成教育プログラム（基礎編）
- 起業するための基礎的な能力を身に着ける
- 起業に興味がある学生・社会人を対象

① 地域連携起業家育成教育
- 将来の起業家を担う学生対象に起業家精神を育成
- 行政、企業と連携し、県内企業への就職も促進

アントレプレナー
イントレプレナー

コワーキングスペースの活用（@小白川、米沢）

早稲田大学・他協働機関・協力機関・企業

① 地域連携起業化育成教育

山形大学 Yamagata University

■目的・キーワード:

・大学在学中に起業家精神（≠経営者教育）を育み、次代を担う人材を育成。

⇒ 学生起業を促すのではなく、出口の一つとしての起業を意識できるようにする。

結果としての学生起業に関してはもちろん支援する。

・地元中小企業とのコラボも重視し、県内企業への就職も促す。

⇒ 人材を送り込むと共に、社内ベンチャー、新規事業創出を促す。

・身近なテーマでのプロジェクト化を通じ、且つ多彩な担い手達との協働を通じ、リーダーシップや協調性を学ぶ。

⇒ 課題の発見、解決策の提示、実行の流れを学ぶ。（起業家精神の基礎）

地域の方々とのワークショップを通じて、具体的課題の検討・提案を実施

例： 商店街の活性化、街づくり、空き家対策 ・・・

② 起業家育成教育プログラム （基礎編）

山形大学 Yamagata University

■目的・キーワード：

・自らの研究シーズで起業・新事業を立ち上げたい研究者を育成。

・新事業や事業分野拡大したい一般企業の方にもプログラムを公開。

・起業や新規事業化により実現可能な未来の社会を描くことができる基礎的な能力を身に着ける。

■カリキュラム案：

・山形大学の既存プログラムの活用

⇒ 地方創成の講義・ワークショップ、ベンチャービジネス論、アントレプレナー精神 等

・早稲田大学、他協働大学のプログラムの活用

⇒ 人気の早稲田大学の授業をWeb配信により受講、単位取得も検討

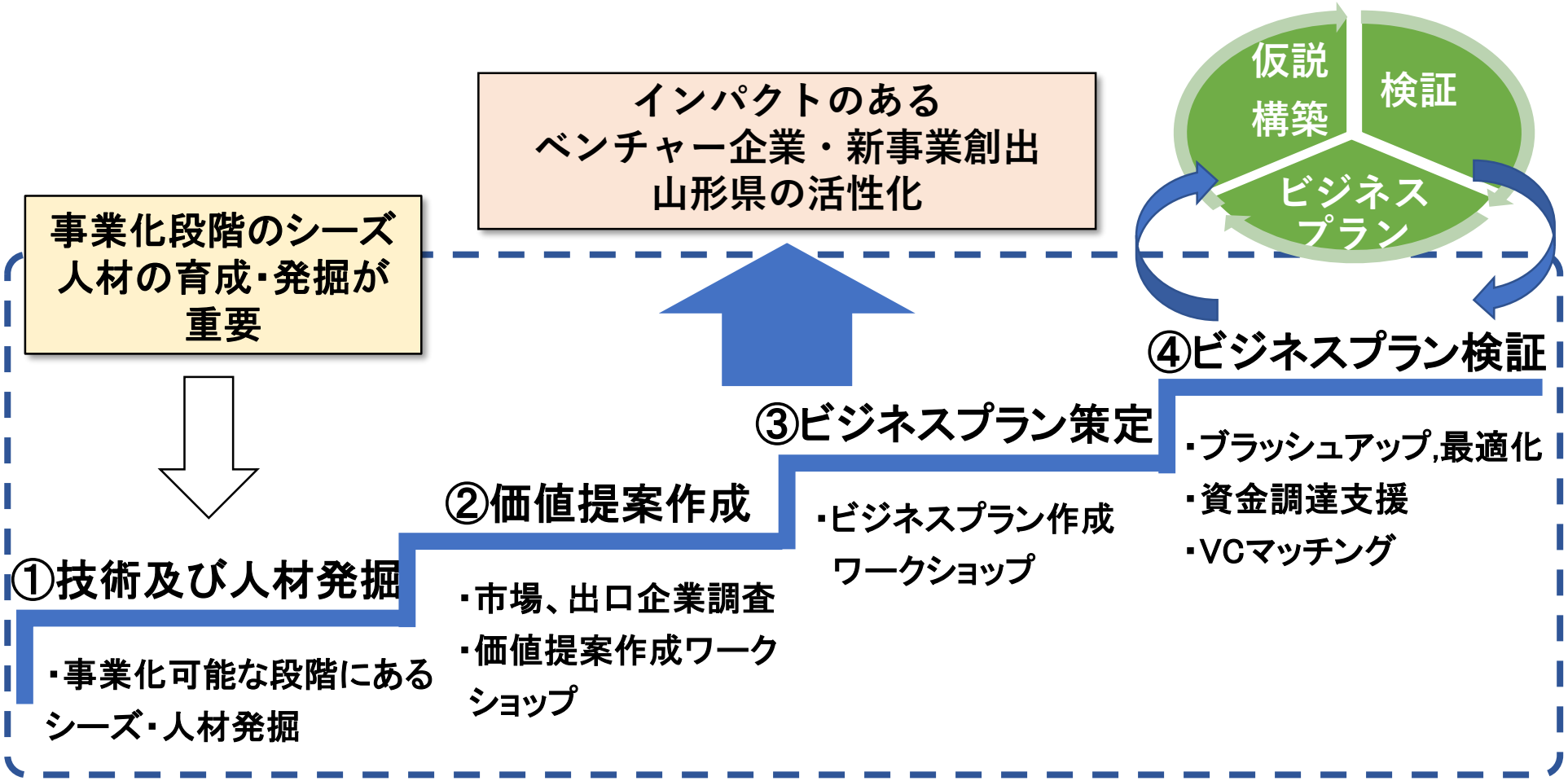
・起業経験者や外部講師を招き、事業化に必要な能力を修得

⇒ 起業経験者を呼んで、起業に向けた実践的な心得を取得
グローバルコミュニケーション（プレゼン力の向上）の習得
起業に必要な基礎（経理、法務、特許、CSRなど）を習得

③ 起業家育成教育プログラム（実践編）

山形大学 Yamagata University

本格的な創業支援・新規事業支援する**独自プログラムを実施**。
各ベンチャー候補に対し**担当プロデューサーが伴走支援**を行う。



コワーキングスペースの活用

山形大学
Yamagata University

学生が気軽に集える “コワーキングスペース”を構築
＜イノベーションを創出する人材を恒常的に育成する場づくり ＞

・大学内外、社会で活躍している人との交流を行い、学生一人一人が自らのキャリアデザインを考える場
・学生主導でセミナーやイベントのアイディア創出し、主催することで実践力養成
・学生が気軽に使えるオープンな場を提供し、“起業ごっこ”を実施

山形大学小白川キャンパス　人文学部3号館・8F　　※工学部(米沢キャンパス)にも設置予定

参考：採択されたコンソーシアム

山形大学 Yamagata University

コンソーシアム名	主幹機関	協働機関
“EARTH on EDGE” ～東北・北海道か らの起業復興～	東北大学	北海道大学、小樽商科大学、京都大学、神戸大学、宮城大学
産官学グローバル連携によるEDGE NEXTプログラム	東京大学	筑波大学、お茶の水女子大学、静岡大学
Tokai-EDGE（Tongali）プログラ ム	名古屋大学	岐阜大学、名古屋工業大学、三重大学 豊橋技術科学大学 （協力大学：大阪大学）
多様性と創造的協働に基づくアントレ プレナー育成プロ グラム	九州大学	奈良先端科学技術大学院大学、 大阪府立大学、立命館大学 （協力大学：広島大学、福岡大学、崇城大学、立命館アジア太平洋大学）
EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成	早稲田大学	山形大学、滋賀医科大 学、東京理科大学 （協力大学：会津大学、多摩美術大学）

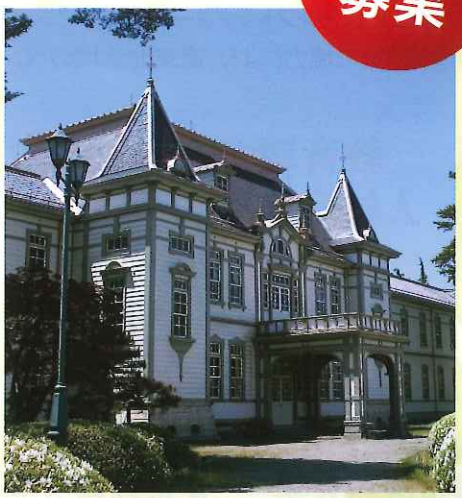
文部科学省 平成29年度EDGE-NEXT事業に採択
早稲田大学主幹の次世代アントレプレナー育成コンソーシアムに参画

山形大学
Yamagata University

多様化する社会に対応できる人材を育成します。
将来の夢に向けて、一緒に学びませんか？

参加募集

山形大学
EDGE-NEXT 人材育成プログラム
キックオフシンポジウム



日時 2017.11.2.THU 13:00-17:00

会場 ホテルメトロポリタン山形
〒990-0039 山形県山形市香澄町1-1-1　TEL.023-628-1111
【シンポジウム】4階 霞城 ／【情報交換会】3階 出羽の間

定員 200名（定員になり次第、締め切ります。）

対象 大学生、一般社会人

- 自分で起業する意欲のある方
- 事業分野拡大をめざす経営者
- 新規事業を企画立案される方
- 地域課題解決活動に興味のある方

プログラム

12:30　受付

司会：山形大学 理事特別補佐 高橋辰宏

13:00　開会

主催者挨拶：山形大学 学長 小山清人
来賓ご挨拶：文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課長 坂本修一氏
主幹機関挨拶：早稲田大学 創造理工学部
経営システム工学科 教授 髙田祥三氏

13:30　基調講演

株式会社ユーグレナ取締役 財務・経営戦略担当
株式会社ユーグレナインベストメント 代表取締役社長
リアルテックファンド 代表
永田暁彦（ナガタ アキヒコ）氏

慶應義塾大学商学部卒。独立系プライベートエクイティファンドに入社し、プライベート・エクイティ部門とコンサルティング部門に所属。2008年にユーグレナ社の取締役に就任。ユーグレナ社の未上場期より事業戦略、M&A、資金調達、資本提携、広報・IR、管理部門を管轄。技術を支える戦略、ファイナンス分野に精通。現在はユーグレナ社の財務、経営戦略を担当するとともに、日本最大級の技術系VC「リアルテックファンド」の代表を務める。

14:15　山形大学・会津大学発ベンチャー紹介

城戸淳二教授（ナチュラルプロセスファクトリー㈱ほか）
時任静士教授（㈱フューチャーインク）
表研次氏（㈱イデアルスター副社長）
久田雅之氏（㈱会津ラボ代表取締役社長）

15:00　山形大学のEDGE-NEXT説明

山形大学 国際事業化研究センター長 小野寺忠司

休憩（10分）

15:30　パネルディスカッション

〈モデレータ〉 国際事業化研究センター長 小野寺忠司
〈パネリスト〉 ㈱skyer代表取締役 宇佐美孝太氏（早稲田大卒）
㈱ナツクサ元役員 高木直人氏（山形大学工学部4年）
葦苅晟也氏（早稲田大学5年一貫制博士1年）
村上和隆氏（山形大学理学部1年）

17:00　閉会

17:15　情報交換会

会場：ホテルメトロポリタン山形 3階 出羽の間
会費：4,000円

19:00　解散

EDGE-NEXT 次世代アントレプレナー人材育成

EDGE-NEXT: Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT

山形大学は、従来から行ってきたアントレプレナー育成を地域創生に向けて本格的に行うため体制を強化し、さらに本学のこの取り組みを加速させるため、このたび早稲田大学を主幹校とし、滋賀医科大学、東京理科大とともに、文部科学省　次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）に共同申請し、採択されました。

山形大学では、ものづくりで事業化までできる独自の体制・設備を活用して、本格的創業支援・新規事業支援パッケージを開発することで、インストラクターの育成、アントレプレナーの輩出を図ります。さらに、主幹校である早稲田大学をはじめ、会津大学や関連機関との協力により、南東北地域のベンチャー・エコシステムのハブを形成し、地域活性化を先導してまいります。

教育理念
人材育成目的

「グローバルリーダー」、「地域貢献」を体現する
アントレプレナー人材を「文理融合」で養成。

共創エコシステム

山形大学 Yamagata University

協働機関1
滋賀医科大学

協働機関2
東京理科大学

主幹機関
早稲田大学

協働機関3
山形大学

協力機関（31）
多摩美術大学 他

協働

起業挑戦者向け人材育成
ベンチャー創出エコシステム構築

- 早稲田大のEDGEノウハウを共有
- 学生交流、教育者人材の交流
- 地域連携強化によるハブ形成
- 海外連携による国際競争力の強化

③起業家育成教育プログラム（実践編）
・本格的創業・新規事業立ち上げに向けた伴走支援

②起業家育成教育プログラム（基礎編）
・起業するために必要な基礎的な能力を身に着ける

①地域連携起業家育成教育
・将来の起業家を担う学生対象に起業家精神を育成

連携

山形県　市町村　地域企業　金融機関　県内他大学 会津大

参加お申込み

■ Eメールで申し込む場合
タイトルを「EDGE-NEXTキックオフ」として、参加申込書の内容を送信してください。
E-mail: yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp

■ FAXで申し込む場合
参加申込書を送付してください。
FAX.0238-26-3633

参加申込書は本チラシ下部のものをご利用いただくか、http://www.big-i.yamagata-u.ac.jp/よりダウンロードすることも可能です。

お問合わせ先　山形大学国際事業化研究センター
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16　TEL.0238-26-3480　FAX.0238-26-3633　E-mail：yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学産学官連携推進本部　共催：山形大学国際事業化研究センター

申込締切：10月23日（月）

参加申込書

氏　名	ふりがな		所　属		役　職
連絡先 勤務先/自宅	勤務先	TEL（　　）　－ E-mail	自　宅	TEL（　　）　－ E-mail	
情報交換会 参　加	□ 有（参加費：4,000円）・□ 無		来場方法	□ 公共交通機関・□ 自動車・□ その他	

※該当する□に✓を記入してください。　※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

プレス通知資料（概　要）

平成２９年１０月５日
山　　形　　大　　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 寄付講義「ツーリズム産業論」を開講します

公益社団法人日本観光振興協会における日本観光振興アカデミー部門の寄付講義事業として，観光について造詣の深い有識者やツーリズム産業界のトップマネージメントを客員講師として招き、「ツーリズム産業論」を開講します。

日時：平成２９年１０月４日（水）から毎週水曜日１４：４０～１６：１０、全１５回
場所：人文社会科学部１号館２０２教室

2.　山形民俗映像フォーラム
山形を代表する民俗芸能・黒川能（王祇祭）52年間の変化を映像から考えます

山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクトの一環として、山形国際ドキュメンタリー映画祭に合わせて民俗映像フォーラムを開催します。

日　時：平成２９年１０月９日（月・祝）１０：３０～１１：５０（４Ｋデモ１５：３０～１６：００）
会　場：山形美術館２階（山形市大手町１−６３）
※事前申込み不要、聴講無料

3.　内外の映像関係者を招き『やまがた創造都市会議2017』を開催

山形の映像文化を、産業・観光・教育振興に活かしたまちづくりを推進する山形市の活動に協力し、「創造都市国際会議」を開催します。

開催日：平成２９年１０月１２日（木）～１３日（金）
場　所：山形大学小白川キャンパス　基盤教育1号館、2号館

4. 第17回林忠四郎記念講演会の開催について

公益財団法人湯川記念財団では，１９９８年から宇宙物理学に関する一般向けの講演会を各地の大学で開催しています。今年は山形大学で開催することになりました。

日　時：平成２９年１０月２０日（金）１６：３０～１８：３０
会　場：理学部先端科学実験棟　ふすまホール

5. 学術書を100円で販売！小白川図書館で「リユース市」を開催します

小白川図書館では、不用となった図書の有効活用を図るため、年に１回「リユース市」を開催し、図書館利用者の方にお譲りしています。各分野の学術書等約２，０００冊を、１冊１００円で販売します。一般の方も利用可能です。

日　時：平成２９年１０月２１日(土)１１：００～１３：００
場　所：小白川図書館１階　イベントエリア

※裏面につづく

６. 人文社会科学部学術講演会「国際公益と国連安全保障理事会」を開催します

一橋大学大学院法学研究科の佐藤哲夫教授を講師に迎え、講演会を開催します。

日　時：平成２９年１０月２６日(木)１５：００～１７：００

場　所：人文社会科学部　１０３教室（参加無料、事前申し込み不要）

７. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

１１月は、本学の山本陽史教授が「『世間』の話」をテーマに４回にわたってお話しします。

日　時：平成２９年１１月２日(木)、８日(木)、１６日(木)、３０日(木)、
１８：３０～１９：３０

プレス通知資料

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

寄付講義「ツーリズム産業論」を開講します

公益社団法人日本観光振興協会における日本観光振興アカデミー部門の寄付講義事業として，平成29年度後期に「ツーリズム産業論」を開講します。

目的

本事業の目的は，21世紀のリーディング産業と期待されるツーリズム産業について，その歴史と現状，課題，ポテンシャルや将来性について学ぶ機会を，産学が連携し幅広く提供する事であり，観光について造詣の深い有識者やツーリズム産業界のトップマネージメントを客員講師として招聘する。

本学の他にも，京都大学，早稲田大学，首都大学東京，一橋大学，明治大学で同様な講義が開催されているが，地方での開講は山形大学が初めてである。そのため，本学では山形県下で観光に携わる方々にも御登壇頂き，学生に中央と地方との差異についても考える機会を提供する。

内容

毎週水曜日　14:40～16:10　人文社会科学部１号館２０２教室

10/4（水）は，ガイダンス

10/11（水）から，外部講師による講義を行う。

第１回　ガイダンス
第２回　日本の観光政策の概要【国土交通省東北運輸局】
第３回　インバウンド戦略，実践事業の紹介【日本政府観光局(ＪＮＴＯ)】
第４回　『観光立県山形』の確立に向けた取組み【山形県観光文化スポーツ部】
第５回　市内観光地における新たな取り組み，DMO【山形市商工観光部】
第６回　ツーリズム産業における航空事業の役割【日本航空株式会社】
第７回　ツーリズム産業における鉄道事業の役割【東日本旅客鉄道株式会社】
第８回　ツーリズム産業における高速道路事業の役割【東日本高速道路株式会社総合企画部】
第９回　ツーリズム産業におけるバス事業の役割【山交バス株式会社営業部】
第10回　地方観光に対する旅行会社の取り組みと今後の課題【株式会社ジェイティービー】
第11回　海外から見た東北の観光地【日本観光振興協会】
第12回　宿泊業から見た今後の地方観光のあり方【高見屋旅館株式会社】
第13回　民泊の現状と観光業界におけるテクノロジー活用【株式会社百戦錬磨】
第14回　地方観光の現状と今後，分析【株式会社JTB総合研究所】
第15回　総括

（お問合せ先）
山形大学学術研究院（人文社会科学部担当）
教授　山田浩久
電話　０２３－６２８－４２４６

平成２９年度の新規開講科目のお知らせ

ツーリズム産業論

開講学年：1 年,2 年,3 年,4 年（H26 年度入学以降）　後期：水曜日 7･8 校時　　2 単位

【授業の特色】

オムニバス形式の１話完結型の講義です。国土交通省，山形県，山形市，JAL，JR 東日本，JTB 等から講師をお招きし，事例を交えながら，分かりやすく観光に関連する政策や各産業の対応に関する講義を行って頂きます。観光はもちろん，地域づくり（まちおこし，むらおこし）に興味を持っている学生諸君は是非受講を検討してみてください。

【受講対象】

1 年 次 学 生：全学の学生が受講（他学部聴講）できます。
人文社会科学部における卒業要件では，「自由科目」となります。

2･3･4年次学生：人文学部人間文化学科開講「地誌学」への読み替えとなります。
（平成 28～26 年度入学者）

なお，後期　木曜日 5･6 校時に開講する「地誌学」（担当教員：山田）と同時に履修（重複履修）することもできます。

【授業の目的／到達目標／評価方法】等については，シラバスを参照して下さい。

【授業計画】

第 1 回　ガイダンス
第 2 回　国土計画における観光の位置づけ，他政策との関連
第 3 回　インバウンド戦略，実践事業の紹介
第 4 回　県内観光地の動向，観光圏構想
第 5 回　市内観光地における新たな取り組み，DMO
第 6 回　ツーリズム産業における航空事業の役割
第 7 回　ツーリズム産業における鉄道事業の役割
第 8 回　ツーリズム産業における高速道路事業の役割
第 9 回　ツーリズム産業におけるバス事業の役割
第 10 回　地方観光に対する旅行会社の取り組みと今後の課題
第 11 回　海外から見た東北の観光地
第 12 回　宿泊業から見た今後の地方観光のあり方
第 13 回　民泊の現状と観光業界におけるテクノロジー活用
第 14 回　地方観光の現状と今後，分析
第 15 回　総括

【受講に関する問い合わせ】

人文社会科学部　山田浩久　hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp

参　考

ツーリズム産業論
Tourism Industry
担当教員:山田　浩久(YAMADA Hirohisa)
担当教員の所属:人文社会科学部人文社会科学科地域公共政策コース
開講学年:1年,2年,3年,4年　開講学期:後期　単位数:2単位　開講形態:講義
開講対象:　科目区分:

【授業の目的】
観光産業に関する一般的知識を身につけ，地方，とくに東北地方がおかれた状況を理解するとともに，現状において挙げられる課題に対して何ができるかを考え，自分なりの意見を持つことを本授業の目的とする。

【授業の到達目標】
本講義を受講した学生は，
1観光産業に対する一般的知識を身につけることができる。
2東北地方の観光の現状を理解することができる。
3東北地方の観光振興に対して自分なりの意見を持つことができる。

【授業概要(キーワード)】
国内観光，インバウンド観光，産業，地方創生

【科目の位置付け】
カリキュラム・ポリシーとの関係については，「カリキュラム・マップ」を参照し，よく理解したうえで履修すること。

【授業計画】
・授業の方法
観光産業に関する全国的な動向を理解した後，地方観光の現状について考える。＜理想と現実＞，＜中央と地方＞，＜大手と中小＞，＜先行と後進＞のギャップを認識しながら，地方の観光地が「今」取り組まなければならないことを考え，難しい問題であるからこその面白さややりがいを見出す。
・日程
第1回　ガイダンス
第2回　国土計画における観光の位置づけ，他政策との関連)
第3回　インバウンド戦略，実践事業の紹介
第4回　県内観光地の動向，観光圏構想
第5回　市内観光地における新たな取り組み，DMO
第6回　ツーリズム産業における航空事業の役割
第7回　ツーリズム産業における鉄道事業の役割
第8回　ツーリズム産業における高速道路事業の役割
第9回　ツーリズム産業におけるバス事業の役割
第10回　地方観光に対する旅行会社の取り組みと今後の課題
第11回　海外から見た東北の観光地
第12回　宿泊業から見た今後の地方観光のあり方
第13回　民泊の現状と観光業界におけるテクノロジー活用
第14回　地方観光の現状と今後，分析
第15回　総括

【学習の方法】
・受講のあり方
各単元で紹介される事例を理解し，講師が何を伝えようとしているかを考えながら，自ら進んで授業に参加する意識をもって受講すること。
・授業時間外学習へのアドバイス
身近なニュースに気を配り，東北地方でどのような観光振興策が採られているかについての情報を把握するようにしておくこと。

【成績の評価】
・基準
各単元ごとに課すミニレポートから，「知識の習得の度合い」と「汎用的技能修得の度合い(論理的思考力，文章表現力)」を評価する。
・方法
第2～14回までのミニレポートの内容

【テキスト・参考書】
資料は講義内に配布する。

【その他】
・オフィス・アワー
金曜日 8:50-10:20
山田研究室(人文社会科学部3号館6階)
メールアドレスは授業内で提示する

プレス通知資料

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

山形民俗映像フォーラム

山形を代表する民俗芸能・黒川能（王祇祭（おうぎさい））５２年間の変化を映像から考えます

山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクトの一環として、山形国際ドキュメンタリー映画祭に合わせて民俗映像フォーラムを開催します。

2016年より、山形大学附属博物館が中核館となって山形文化遺産活用事業実行委員会を組織し、「山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト」を推進しています。

本年度は山形国際ドキュメンタリー映画祭に合わせて映像資料を活用し、山形の民俗芸能について考える「山形民俗映像フォーラム」を開催します。大学や歴史系博物館が持つ資料を多様な形で分析・研究するための学問「総合資料学」を推進すると国立歴史民俗博物館との共同開催です。古い映像資料の４K化事業の普及に努めている株式会社東京光音のデモもあります。

山形民俗映像フォーラム　黒川能（王祇祭）1954年／2006年

日時：平成29年10月9日（月・祝）　10:30～11:50（4Kデモ　15:30～16:00）

会場：山形美術館２階（山形市大手町１-６３）

主催：山形市創造都市推進協議会・山形大学・山形市

協力：株式会社東京光音

※事前申込み不要、聴講無料

（お問合せ先）
学術研究院 准教授
（附属博物館学芸研究員）佐藤　琴
電話：023-628-4930

山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト
国立歴史民俗博物館 総合資料学の創成
平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

Project to Disseminate Cultural Heritage in Yamagata
National Museum of Japanese History
Integrated Studies of Cultural and Research Resouces

山形民俗映像フォーラム
黒川能（王祇祭）1954年／2006年

2017年10月9日［月・祝］
10時～11時50分（4Kデモ：15時30分～16時）
会場：山形美術館2階／事前申込不要／聴講無料

Yamagata Folk Film Forum
Kurokawa Noh Ogisai 1954/2006

2017.10.09 Mon. 10:00–11:50（15:30–16:00）
Venue: Yamagata Museum of Art, 2nd Floor
Fee: Free　Language: Japanese only

［スケジュール］
10:00–11:50
- 4Kスキャニングについて（株式会社東京光音）
- 「王祇祭」（製作：日本大学芸術学部／1954年／山形県教育センター所蔵／21分）上映
- 「王祇祭」（1954年）と「黒川能」（記録：内田長志／2006年／国立歴史民俗博物館所蔵）の比較
- トークセッション：
  市村幸夫（村山民俗学会）
  岩鼻通明（山形大学農学部 教授）
  内田順子（国立歴史民俗博物館 准教授）

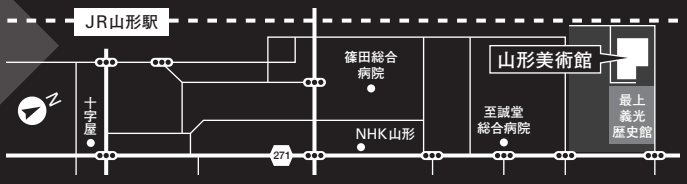
15:30–16:00
- 4Kスキャニング映像の上映と説明（株式会社東京光音）

カラー画像：「黒川能」（記録：内田長志／2006年／国立歴史民俗博物館所蔵）
背景モノクロ画像：「王祇祭」（製作：日本大学芸術学部／1954年／山形県教育センター所蔵）

[Schedule]
10:00–11:50
- Talk: “4K Film Scanning” (Tokyo Koon Inc.)
- Film: “Ogisai” (1954) made by Nihon University College of Art
- Comparison of “Ogisai” (1954) and “Kurokawa Noh” (2006)
- Panel Session:
  Mr. Yukio Ichimura (Murayama Folklore Society)
  Dr. Michiaki Iwahana (Professor at Yamagata University)
  Dr. Junko Uchida (Associate Professor at National Museum of Japanese History)

15:30–16:00
- Screening of Film scanned in 4K data

［お問合せ］山形文化遺産活用事業実行委員会（事務局：山形大学附属博物館）
Tel：023-628-4930／E-mail：hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
[Inquiries] Yamagata University Museum
E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



主催：大学共同利用機関法人人間文化機構国立歴史民俗博物館、山形文化遺産活用事業実行委員会／後援：山形大学
Organized by: Inter-University Research Institute Corporation National Institutes for the Humanities National Museum of Japanese History and The Executive Committee of Exploiting Cultural Heritage in Yamagata / Supported by: Yamagata University

国立歴史民俗博物館 総合資料学の創成
文化庁

プレス通知資料

平成２９年１０月５日
山　形　大　学

内外の映像関係者を招き「やまがた創造都市会議2017」を開催

山形市は、山形の映像文化を、産業・観光・教育振興に活かしたまちづくりを推進するとともに、国内外の創造都市との交流・連携を進め、『創造都市やまがた』の発展を目指しています。その活動の一環として、山形大学の全面的な協力のもと「創造都市国際会議」を開催します。日本、イタリア、フィリピンの映像アーカイブ関係者を招き、山形の自然や生活などの文化資産を観光振興に結びつける方策を探る機会とします。また、言語の違いを超えて感動を共有できる音楽イベントも実施します。

（１）シンポジウム「クリエイティブ・ツーリズム　文化資産の活用」

日時：平成29年10月１2日（木）　15:00～18:00
会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館２１１教室
パネリスト
アンドレア・メネゲッリ（イタリア　ボローニャ市チネテカ映像アーカイブ責任者）
テディー・コー（フィリピン　映像研究者、アーキビスト、山形国際ドキュメンタリー映画祭2017アジア千波万波審査員）
葉山茂（大学利用機関法人人間文化機構総合人間文化研究推進センター研究員、国立歴史民俗博物館特任助教（併任））
コーディネイター
山本陽史（山形大学学術研究院教授）

（２）スペシャルコンサート

日時：平成29年10月12日（木）　18:30～19:30
会場：清風荘
演奏：トミ・レブレロ（アルゼンチン　シンガーソングライター・バンドネオン奏者）
※無料（立礼席呈茶　希望制500円）

（３）セッション１「モノ語る人びと－津波被災地・気仙沼から」

日時：平成29年10月13日（金）　13:00～14:30
会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育１号館134教室
講師：葉山茂（大学利用機関法人人間文化機構総合人間文化研究推進センター研究員、国立歴史民俗博物館特任助教（併任））

（４）セッション２「映画製作プロセスを活用した地域活性化」

日時：平成29年10月13日（金）　15:00～16:30
会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育１号館134教室
講師：渡邊竜一（株式会社フィディア総合研究所理事、株式会社アジア･メディアプロモーション　代表取締役）

主催：山形市創造都市推進協議会・山形大学・山形市
協力：山形ドキュメンタリー映画祭事務局
※事前申込み不要、聴講無料

（お問合せ先）
学術研究院 准教授
（附属博物館学芸研究員）佐藤　琴
電話：023-628-4930

Yamagata Creative City of Film
映像文化創造都市やまがた

beyond 2020

やまがた創造都市国際会議2017

Yamagata Creative Cities International Conference 2017

プログラム

平成29年10月12日(木)
シンポジウム「クリエイティブ・ツーリズム 文化資産の活用」
スペシャルコンサート

平成29年10月13日(金)
セッション 1／2

会場
山形大学／清風荘

主催
山形市創造都市推進協議会／山形大学／山形市

協力
認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

Program

Thu, 12 October 2017
Symposium "Creative Tourism-Activating Cultural Assets"
Special Concert

Fri, 13 October 2017
Session1／2

Place
Yamagata University／Seifuso

Presented by Yamagata Creative City Promotion Council／
Yamagata University／Yamagata City

In collaboration with
Yamagata International Documentary Film Festival(NPO)

シンポジウム／Symposium

使用言語：日本語・英語（相互言語への逐次通訳あり）
Languages:Japanase／English（Interpretation to each language）

イタリア、フィリピン、日本においてさまざまなかたちで映像に関わる方々をお招きして、映像が都市や市民をどのように活性化させてきたのか、その具体的な取り組みをご報告いただき、映像の可能性について話し合います。

「クリエイティブ・ツーリズム 文化資産の活用」

■ 日時　平成29年10月12日（木）

15：00 ● 開始

15：20 ● 「チネテカがボローニャ市にもたらすもの」
アンドレア・メネゲッリ
イタリア ボローニャ市チネテカ映像アーカイブ責任者

15：50 ● 「地域と旅行者が共創する地域資産の可能性」
葉山茂
大学利用機関法人人間文化機構総合人間文化研究推進センター研究員
国立歴史民俗博物館特任助教（併任）

16：05 ● 「フィリピンでの映像活用事例」
テディー・コー
フィリピン映像研究者、アーキビスト
山形国際ドキュメンタリー映画祭2017アジア千波万波審査員

16：35 ● 休憩

16：50 ● パネルディスカッション
コーディネイター 山本陽史
山形大学学術研究院教授

18：00 ● 閉会

■ 会場　山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館211教室
■ 事前申込不要／定員100名／入場無料

“Creative Tourism-Activating Cultural Assets”

■ Thu,12 October 2017

15：00 ● Opening

15：20 ● “Cineteca for Bologna City”
Andrea MENEGHELI
The head of Film Collections at the Cineteca di Bologna／Italy

15：50 ● “Creative Coexistence of Communities and Tourists - Enhancing Regional Resources”
HAYAMA Shigeru
A researcher at the Inter-University Research Institute Corporation
National Institutes for the Humanities Center for Transdisciplinary Innovation,
a research assistant professor at National Museum of Japanese History／Japan

16：05 ● “Method for Utilizing Films in Philippines”
Teddy CO
A jury of New Asian Currents YIDFF 2017, a film historian, an archivist／Philippines

16：35 ● Break

16：50 ● Discussion
Coordinator：Prof. YAMAMOTO Harufumi
Yamagata University

18：00 ● Closing

■ Place：Yamagata University General Education building 2-211
■ Reservation is not required.／Number of positions：100／Admission FREE

スペシャルコンサート／Special Concert

使用言語：英語（日本語への通訳あり）
Language:English(Interpretation to Japanese)

松尾芭蕉を敬愛する、アルゼンチンのシンガーソングライターによるミニコンサートです。
A mini-concert by an Argentina bandneon player who admires MATSUO Basho is held at Japanese tea house.

■ 日時　平成29年10月12日（木）開場18：00／開演18：30
■ 演奏　トミ・レブレロ
アルゼンチン シンガーソングライター・バンドネオン奏者
■ 会場　清風荘
山形市東原町二丁目16-7
■ 事前申込不要／無料

清風荘では、毎日10時より15時まで、日釜を行っております。10月12日はやまがた創造都市国際会議に合わせ、時間を延長し18時半まで呈茶の提供を行います（希望制500円）。
入場は先着順です。

■ Thu,12 October 2017　Open 18：00／Start 18：30
■ Tomi LEBRERO　Argentina,　Singersong writer, Bandoneon player
■ Place：Seifuso
2-16-7 Higashihara-machi, Yamagata City, Yamagata, JAPAN
■ Reservation is not required. Admission FREE

Seifuso provides an opportunity to join Japanese tea ceremony for visitors everyday from 10:00 to 15:00. In this occasion of this Conference, it will extend the opening hours to 18:30.
You will be seated on a first-come-first-served basis.

セッション1／Session1

使用言語：日本語（英語への通訳あり）
Language：Japanese(Interpretation to English)

東日本大震災で被災した気仙沼において
国立歴史民俗博物館が記録し続けている映像を学術的に読み解きます。

「モノ語る人びと―津波被災地・気仙沼から」

■ 日時　平成29年10月13日（金）13:00−14:30
■ 会場　山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館134教室
■ 講師　葉山茂

“Storytellers from Kesennuma：place suffering from tsunami of Great Japan Earthquake”

■ Fri,13 October 2017　13:00−14:30
■ Place：Yamagata University General Education building 1-134
■ By HAYAMA Shigeru

セッション2／Session 2

使用言語：日本語（英語への通訳あり）
Language：Japanese(Interpretation to English)

映像と観光を結びつけるために我々は何をすべきなのか、
実例をご紹介いただきます。

「映画製作プロセスを活用した地域活性化」

■ 日時　平成29年10月13日（金）15:00−16:30
■ 会場　山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館134教室
■ 講師　渡邊竜一
株式会社フィディア総合研究所理事、株式会社アジア・メディアプロモーション 代表取締役

“Urban revitalization through film making”

■ Fri,13 October 2017　15:00−16:30
■ Place：Yamagata University General Education building 1-134
■ By WATANABE Ryuichi
The executive director of the FIDEA Research Institute Corporation,
the representative director of Asia Media Promotion Co.,Ltd./ Japan

■ アンドレア・メネゲッリ

アンドレア・メネゲッリ氏は10年前より現職のイタリアのボローニャ市チネテカ映像アーカイブ責任者。2001年よりチネテカで映像作品の保存、カタログ作成、デジタル化、新しい作品の入手と修復プロジェクトによりコレクションの充実を図ると共に視聴覚財産のオンライン普及活動においてヨーロッパでの主導者。ボローニャ大学にて映画史を学び、長年にわたり様々な映画や教育用映像資料の制作に携わる。イタリアの沈黙の時代と民族誌的ドキュメンタリーに特化したDVDコレクションを編集。映画史に関するエッセイなど書籍も多く、雑誌、定期刊行物にも寄稿。また、ボローニャで毎年開催される映画祭「Il Cinema Ritrovato」の諮問委員。

■ Andrea MENEGHELI

Mr. Andrea Meneghelli has served as Curator of the Film Collections at Cineteca di Bologna (Italy) for the past decade. A Cinematheque employee since 2001, his work today covers conservation, cataloging, digitization, collection enhancement through new acquisitions and restoration projects, as well managing European initiatives devoted to the on-line diffusion of the audiovisual heritage. Mr. Meneghelli graduated from the History of the Cinema Department at the University of Bologna and over the years has been involved in various productions of films and educational audiovisual material. He edited DVD collections devoted to Italian documentary in the silent era and Italian ethnographic documentary. He's author of several essays and articles on film history published and various books, magazines, and periodicals. He is also member of the advisory board of the film festival "Il Cinema Ritrovato", which takes place annually in Bologna.

■ 葉山茂

人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員[国立歴史民俗博物館特任助教(併任)]。総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻修了後、国立歴史民俗博物館外来研究員・同機関研究員・同特任助教を経て、2016年より現職。現代における自然と人のかかわりを研究する。おもな著書・編著書に『現代日本漁業誌—海と共に生きる人々の七十年』(昭和堂 2013年)、『東日本大震災と気仙沼の生活文化—図録と活動報告』(国立歴史民俗博物館 2013年)がある。

■ HAYAMA Shigeru

After graduating from the Graduate University for Advanced Studies, Sokendai, in Japanese studies, Mr. Shigeru Hayama has worked as a researcher at the National Museum of Japanese History, and as a researcher and special assistant professor at the National Institute of Japanese History. He has served in his current position since 2016 and studies the relationship between nature and people in modern times. His publications include "Modern Japanese fishery magazines - Seventy years of people living with the sea" (Showado 2013) , "The East Japan great earthquake and lifestyle in Kesennuma – a catalog and activity report" (National Museum of Japanese History 2013).

■ テディー・コー

1958年中国人の両親の下、フィリピン・マニラに生まれ、フィリピン大学にて学ぶ。映画館で文化員として30年間勤務するほか、フィルムアーキビスト、キュレーターとしても活躍。CinemalayaやQCinemaなどの映画祭の選抜委員会のメンバーでもある。2004年から政府機関NCCAのメンバーで、現在芸術分野のコミッショナーと映画部門の総責任者を務める。2008年、フィリピン中から映像と映像製作者が集まる映画祭Cinema Rehiyonを共同設立。2017年から2019年にかけて行われるフィリピン映画100周年を祝う国の式典の指揮を取っている。

■ Teddy CO

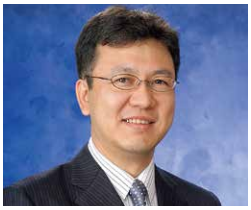
Born in 1958 in Manila of ethnic Chinese parentage, he studied at the University of the Philippines. He has been a cultural worker in cinema the past 30 years. Also he works as a film archivist and a curator. He has been on the selection committees of important local independent film festivals like Cinemalaya and QCinema. Since 2004, he has been a member of the Cinema Committee of the National Commission for Culture and the Arts (NCCA) and is at present the Commissioner for the Arts, and also the Chairman of its Committee on Cinema. In 2008, he co-founded Cinema Rehiyon, which is the largest annual gathering of films and filmmakers from all over the provinces of the Philippines. He is currently spearheading the country's celebration of the centenary of Philippine Cinema, from 2017 to 2019.

■ トミ・レブレロ

ブエノスアイレス出身のバンドネオン奏者／シンガー・ソングライター。アルゼンチンのインディーズ音楽シーンで躍動。アルゼンチンでは6枚のアルバムを、うち2枚は日本の大洋レコードで制作。映画、劇場音楽にも携わり、2013年には、トミ・レブレロが馬に乗ってアルゼンチンを旅し、現在のアルゼンチン音楽に触れるロードムービー「It will not arrive」を製作。

■ Tomi LEBRERO

Tomi Lebrero（38）is a singer songwriter from Buenos Aires. His main instrument is the bandoneon. He is an important figure of indie music scene in Argentina nowadays. He made six albums in his country and two of them where edited in Japan by Taiyo records. He also makes music for movies, theater, and in 2013 he made a horse trip of 2000 km from where it was born the documentary "It will not arrive" that shows a panorama of Argentinean music nowadays.



■ 渡邊竜一

株式会社フィデア総合研究所 理事。株式会社アジア・メディアプロモーション 代表取締役。神奈川県出身。㈱リョケンのハウスエージェンシーにて日光・鬼怒川の旅館の販売促進を手掛けた後、情報誌「じゃらん」「ゼクシィ」等の編集、読者向けのイベント企画・運営を経て、株式会社リクルート地域活性部契約プランナーとして様々な観光地域活性事業に従事。その後映画やドラマのロケ地を紹介する情報誌「ロケーションジャパン」の創刊編集長を務め、中央省庁、都道府県等の観光アドバイザー、委員を歴任。徳島県上勝町の「いろどり」事業アドバイザーのほか、福島こどもみらい映画総合監修、秋田大館市活性化映画「ハナばあちゃん～わたしのヤマのカミサマ」を企画製作、北海道への中国観光ブームを作った映画「狙った恋の落とし方」日本配給をプロデュース。また、秋田県の地元銀行理事として政・官・学・民・金の連携による基幹産業活性化の取組みを展開中。

■ WATANABE Ryuichi

Mr. WATANABE, an executive director of the FIDIA Research Institute Cooperation and a representative director of Asia Media Promotion Inc., was born in Kanagawa prefecture. He has served as an editor for Japanese leading magazines such as *Jalan*, a travel magazine, and *Zexy*, the most popular bridal magazine. After he joined Recruit Holdings Co.,Ltd., he engaged in regional revitalization projects through tourism and became a chief editor of *Location Japan*, a film location magazine. As a tourism advisor, he has produced various film tourism projects offered by central ministries and prefectures. He has also served as a Tourism Ambassador for Akita, Fukushima and Tokushima prefectures. He produced distribution of "If You Are the One" in Japan and boosted the number of Chinese tourists in Hokkaido. As a board member of regional bank in Akita prefecture, he is currently working on a project to activate key industries.

■ 山本陽史

和歌山県出身。山形大学教授。日本近世文学を専攻。日本世間学会代表幹事。日本トランペット協会常任理事。ボローニャと山形の交流を推進する「チェントロ・ポルティコ」顧問として創造都市ボローニャ市／ボローニャ大学と山形市／山形大学の交流を推進。ボローニャ市で俳句と『おくのほそ道』のワークショップを開催。音楽祭による観光推進を手がけ、日本各地でブラスアンサンブルフェスティバルを開催。また、フィンランドやフランスの音楽祭への参加経験も豊富。山形県国際音楽祭実行委員、1995世界ホルンフェスティバルinやまがた専門委員、眺海(ちょうかい)の森音楽祭実行委員を歴任。2005年旧松山町(現酒田市)から文化功労表彰、2014年山形市市政功労表彰(教育・文化等)。

■ YAMAMOTO Harufumi

Prof. Yamamoto, born in Wakayama prefecture, is a professor in Yamagata University.
He studies Japanese literature and culture and is an executive director at the Japanese trumpet association. He has worked towards boosting tourism through music festivals and has held music festivals all over Japan. He has participated in the Zao Jazz Festival, the World Horn Festival in Yamagata in 1995, the Choukai Forest Music Festival, and many others.He has been active in the twinning of Bologna City and Bologna University with Yamagata City and Yamagata University.

やまがた創造都市国際会議2017の開催にあたって

山形市は、山形の映像文化をはじめとする芸術文化を、産業振興・観光振興・教育振興に活かしたまちづくりを推進するとともに、国内外の創造都市との交流・連携を進め、「創造都市やまがた」の発展を目指しています。

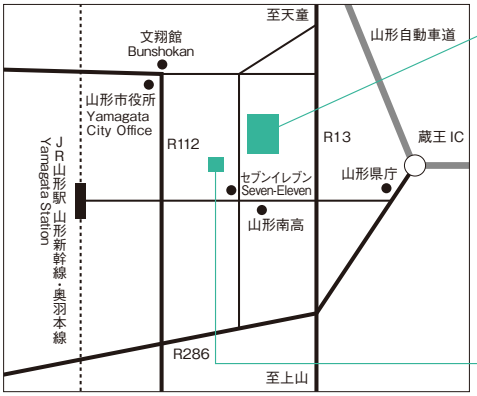
映像は人と人とを結ぶ媒体であり、寛容と開かれた談話を掲げ、新しい発想を促すものだと考えています。山形市が1989年にスタートさせた山形国際ドキュメンタリー映画祭は、2006年には法人化し、映画祭を運営・開催しており、世界中の映画ファンから高い評価をいただく中で、山形から世界へ巣立つ映像作家も少なくありません。

山形市では山形フィルムコミッションを設立し、ロケーション誘致や撮影支援を行っております。さらに、商業映画の分野でも、ダイバーシティメディアと株式会社ムービーオンでは、山形国際ムービーフィスティバルを開催し、若きクリエイターへの支援を行っています。

このように、山形市では産・学・官と市民は共に映像文化を重要な独自の地域資源として捉え、創造都市として歩み始めているのです。

映画祭が開かれる2017年、山形市の創造都市としての取り組みをより進化させ、その発信力を高めるために、国内外のゲストを招き、シンポジウムとワークショップを開催します。映画祭関係者だけでなく、市民の方々に「創造都市」についての理解を深めていただく機会とします。

アクセス／Access



できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いします。

山形大学／Yamagata University

山形市小白川町 1-4-12
1-4-12 Kojirakawa-machi, Yamagata City, Yamagata

- 山形駅から徒歩 30 分
- 山形駅からベニちゃんバス
  東くるりん東原町先回りコース乗車
  山大前下車徒歩２分
- Yamagata University is
  A 30-minute walk from Yamagata Station
- Take a Beni-chan Bus East Kururin at
  Yamagata Station to Yamagata University
  Bus Stop (32 mins) then 2 mins on foot to
  Yamagata University

清風荘／Seifuso

お問い合わせ

山形大学附属博物館
TEL：023-628-4930
E-mail：hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Inquiries

Yamagata University Museum
TEL：0081-23-628-4930(Japanese only)
E-mail：hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
(Japanese and English)

プレス通知資料

平成２９年１０月５日
山　　形　　大　　学

第１７回林忠四郎記念講演会の開催について

10月20日(金)16時３０分から，表記講演会が山形大学理学部ふすまホールにおいて開催されます。講師は，佐藤文隆京都大学名誉教授（山形県出身）と白水徹也名古屋大学教授です。内容は，宇宙物理学に関する一般向けの講演です。

１. 林忠四郎記念講演会について

初期宇宙における元素の起源，恒星の進化，「ハヤシ・フェイズ」の発見や太陽系の起源「京都モデル」構築などの星と惑星系形成の研究により「宇宙物理学の巨人」といわれた林忠四郎先生（故人）の1９９５年京都賞受賞を記念して，公益財団法人湯川記念財団では，1998年から宇宙物理学に関する一般向けの講演会を各地の大学で開催しています。

２０１７年は，山形大学と山形大学理学部の共催を得て，本学を会場に第１７回の記念講演会を開催することになりました。

２．第17回林忠四郎記念講演会の概要

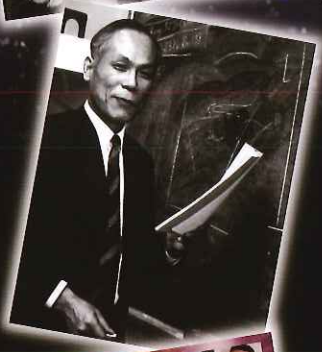
開催日時　平成２９年１０月２０日（金）１６：３０～１８：３０
会　　場　理学部先端科学実験棟　ふすまホール
講　　演　佐藤文隆先生（京都大学名誉教授）
「若い頃の林先生と研究」
白水徹也先生（名古屋大学教授）
「究極の理論が予言する宇宙とブラックホールの姿」
対　　象　教職員，学生，一般の方（高校生を含む）
参加料等　無料（一般の方は事前に参加の連絡をお願いします）

3．この記念講演会についての詳細は，次のホームページを参照してください。林忠四郎先生，講師2名とその講演内容についての詳しい説明も掲載されています。

http://sci.kj.yamagata-u.ac.jp/~hayashi17

（お問合せ先）
学術研究院教授(理学部担当)　梅林豊治
電話　628-4640

第17回
林忠四郎記念講演会



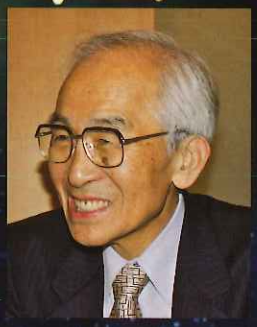
初期宇宙における元素の起源，恒星の進化，「ハヤシ・フェイズ」をはじめとする星と惑星系の形成の研究により「宇宙物理学の巨人」といわれた林忠四郎先生（故人）の1995年京都賞受賞を記念して，各地の大学で講演会が開催されています。

2017年度は，山形大学でこの記念講演会を開催することになりました。多数の皆様の参加をお待ちしています。

【講演者】

佐藤 文隆 先生

京都大学名誉教授



『若い頃の林先生と研究』

敗戦後，先生は京都に戻って湯川研究室の門をたたいた。そこでの自学自習，東大で同級生だった南部陽一郎との関係，ガモフ論文の追求などについて話します。

【講演者】

白水 徹也 先生

名古屋大学大学院多元数理科学研究科／素粒子宇宙起源研究機構　教授

『究極の理論が予言する宇宙とブラックホールの姿』

現在の膨張宇宙は，過去に遡ると収縮しミクロサイズから始まった。究極の理論と期待される超弦理論が予言する宇宙とブラックホールの驚くべき姿を紹介します。

平成29年

10月20日（金）

16:30～18:30

【会　場】

理学部先端科学実験棟
S401大講義室（ふすまホール）

（開場 15:30）

【お問い合わせ先】

第17回林忠四郎記念講演会実行委員会
（委員長 山形大学理学部 梅林豊治）

主 催：湯川記念財団　　共 催：山形大学／山形大学理学部

山形大学小白川図書館

リユース市

日時： 平成29年10月21日(土)
11：00～13：00

場所： 山形大学小白川図書館
1F イベントエリア

内容： 各分野の学術書等
約2,000冊(予定)

1冊100円(税込)にて販売いたします。

※お持ち帰り用の紙袋・バッグ等をお持ちください。

問合せ先：
山形大学小白川図書館
総務担当
TEL.023-628-4904

山形大学
Yamagata University

山形大学人文社会科学部学術講演会
山形大学法学会共催

国際公益と
国連安全保障理事会

◆2017年10月26日（木）
15時-17時

◆人文社会科学部103教室

◆参加費無料・事前申込不要

講師　**佐　藤　　哲　夫** 氏
一橋大学大学院法学研究科教授

主な著書
『国連安全保障理事会と憲章第7章―集団安全保障制度の創造的展開とその課題』（有斐閣，2015年）
『国際組織法』（有斐閣，2005年）
『国際組織の創造的展開-設立文書の解釈理論に関する一考察』（勁草書房，1993年）

◆お問い合わせ先

人文社会科学部主担当　丸山　政己
TEL:023-628-4737　E-mail: maruyama@human.kj.yamagata-u.ac.jp
山形大学人文社会科学部事務室
TEL:023-628-4203　E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた夜話

「世 間」の 話

「世間をお騒がせして申し訳ない」「世間体が悪い」［渡る世間に鬼はない」、
日本人は世間を気にしながら生きています。
世間にまつわる話を縦横に語り、たまに歌います。

平成29年

11月　2日（木）　日本にはキリスト教徒がなぜ少ないのか
～集団と個人

11月　8日（水）　傷ついた日本人はなぜ北へ向かうのか
～世間の中の東北

11月16日（木）　文学に世間はどう描かれているか
～万葉から漱石、山崎豊子まで

11月30日（木）　就活でなぜリクルートルックを着るのか
～世間の今と明日

※ 時間はいずれも18:30 ～ 19:30 です。

ボローニャ聖ペトロニオ教会
（島 麗香 さん写す）

ボローニャ出身の作曲家
レスピーギの墓

（鈴木喜恵子さん写す）

講師　山本　陽史　氏

山形大学教授・放送大学客員教授・
日本世間学会代表幹事

会　場　ゆうキャンパス・ステーション
（山形むらきさわビル1階）

アクセス　山形駅東口より徒歩1分

対　象　高校生・学生・一般市民
定員：50名　**入場無料**

お申し込み　電話又はチラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上Fax，郵送、メール等でお申し込みください。

主　催　大学コンソーシアムやまがた

大学コンソーシアムやまがた

お申込み お問合せ

〒990－0039　山形市香澄町1－3－15　山形むらきさわビル1階
TEL：023-628-4842　FAX：023-628-4820
E-mail：unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FAX：023-628-4820
大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日：それぞれの夜話の**前々日まで**にお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を〇で囲んでください。 ☐　平成２９年１１月　２日（木）　講師：　山本　陽史　氏 ☐　平成２９年１１月　８日（水）　講師：　山本　陽史　氏 ☐　平成２９年１１月１６日（木）　講師：　山本　陽史　氏 ☐　平成２９年１１月３０日（木）　講師：　山本　陽史　氏
住　所	〒
氏　名	
連絡先	TEL
	E-mail
所　属	

・受講申込者が定員を大幅に超える場合には、入場を制限させていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、 参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた　ゆうキャンパス・ステーション

〒990－0039　山形市香澄町1－3－15　山形むらきさわビル1階

TEL:023－628－4842　FAX:023－628－4820　E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp